

ひろしまの 土地改良



第15回ひろしまの農村フォトコンテスト 特別賞
「除虫菊に包まれて」 藤原 敏明 (撮影場所：尾道市)

●平成29年度広島県土地改良事業団体連合会職員採用選考試験 受験案内

- 【試験区分】技術職(農業土木)
- 【採用予定人員】3名程度
- 【職務概要】農業農村整備事業等に関する調査、計画、測量、設計、施工管理等の業務
- 【応募資格】昭和58年4月2日から平成29年4月1日までに生まれた者(学歴不問)
- 【選考試験日及び応募締切日】

選考試験日	応募締切日
平成29年 6月 2日(金)	平成29年 5月26日(金)
平成29年 7月21日(金)	平成29年 7月14日(金)
平成29年 9月29日(金)	平成29年 9月22日(金)
平成29年12月 8日(金)	平成29年12月 1日(金)
平成30年 3月 2日(金)	平成30年 2月23日(金)

- 【試験会場】広島市中区鉄砲町4番1号 広島県土地改良会館 会議室

※詳細については、「水土里ネットひろしま」HPの採用情報をご覧ください。

URL : <http://www.hdn.or.jp/>



広島県土地改良事業団体連合会第59回通常総会 並びに第56回土地改良功労者表彰式開催

平成29年2月13日(月)14時から広島市内の広島ガーデンパレスにおいて、全国水土里ネット会長会議顧問進藤金日子氏、中国四国農政局坂井局長、広島県農林水産局の上仲局長をはじめとする来賓の方々を迎え、広島県土地改良事業団体連合会第59回通常総会並びに第56回土地改良功労者表彰式が開催されました。



開会挨拶 木山副会長



来賓挨拶 坂井局長



開会にあたって進藤金日子氏より祝辞

はじめに、第56回土地改良功労者表彰式が行われ、広島県知事表彰1名、広島県土地改良事業団体連合会長表彰19名の方々に、表彰状並びに感謝状が贈られました(受賞者名簿別掲)。

続いて第59回通常総会が開催され、開会にあたり木山副会長から、「農業の生産基盤や農村の環境基盤を、着実に整備する必要性とともに長年培ってきた技術と経験を最大限に活かし市・町・土地改良区の皆様と、連携を図り行政を補完する組織としての本会の使命・役割を全うしたい。」と挨拶を述べられました。山県郡大朝土地改良区野村理事長理事が議長に選任されて議事に入り、全ての議案が原案通り可決されました。

- 第1号議案 平成27年度事業報告書・収支決算書及び財産目録について
- 第2号議案 平成28年度事収入支出予算の補正について
- 第3号議案 平成29年度事業計画及び収入支出予算について
- 第4号議案 平成29年度賦課金の賦課及び徴収方法について
- 第5号議案 平成29年度余裕金の預入先の指定について
- 第6号議案 平成29年度役員報酬について
- 第7号議案 役員を選任について

農業農村整備事業の促進や予算措置をはじめとした決議案を採択し、閉会しました。

●農林水産功労者(農業部門)表彰(広島県知事表彰)

久川 廣昭 様(深安郡神辺町土地改良区 理事長)

長きにわたり土地改良区の役員を監事・理事・理事長と献身的に務め、土地改良区の健全な運営に貢献されています。

平成12年の本土地改良区の合併に際しては円滑な合併推進に尽力されました。

団体営ため池等整備事業砂原地区をはじめ、数多くの土地改良事業を手掛けるほか、土地改良区が直轄で管理している施設やため池など水利施設の管理手法を確立され、これにより農業用施設の適正な管理体制が構築され、施設の機能維持が図られています。

また、全組合員に土地改良区だよりを配付し、土地改良区の活動について理解を深めていただけるよう、啓発活動にも取り組まれています。



農林水産功労者表彰を受ける久川氏(左)

●土地改良事業功労者表彰(広島県土地改良事業団体連合会長表彰)

- ◆個人 加藤 紘一 様(広島市祇園町外二ヶ町土地改良区 副理事長)
 岡本 進 様(山県郡芸北土地改良区 理事長)
 岩見 宏 様(安芸高田市土地改良協議会 事務局次長)
 高杉 正彦 様(元 三次市土地改良区 理事)
 荒川 潔 様(比婆郡東城町森田黒土地改良区 理事)
 澤久 三鶴 様(比婆郡高野町土地改良区 理事)
 池田 利行 様(深安郡神辺町土地改良区 副理事長)
 井川 信孝 様(東広島市大曾場土地改良区 理事長)



個人表彰 井川氏(左)

- ◆感謝状 江頭 輝志 様 大石 忠義 様 亀井 央治 様
 坂本 利和 様 田中 健治 様 寺本 克彦 様
 野々脇祐一 様 則頭 孝治 様 花田 誠 様



感謝状表彰 亀井氏(左)

◆25年永年勤続

- 田中 登 様 保崎 美紀 様



上段左より 坂本氏、江頭氏、大石氏、亀井氏、則頭氏、寺本氏、田中氏、保崎氏
 手前左より 池田氏、岡本氏、井川氏、木山副会長、久川氏、加藤氏、澤久氏、高杉氏(代理)

|| 広島県農業農村整備事業推進協議会第69回通常総会開催

平成29年2月13日(月)13時から広島市内の広島ガーデンパレスにおいて、広島県農業農村整備事業推進協議会第69回通常総会が開催されました。

はじめに浜田会長が、「今後は農業の競争力強化や農村地域の国土強化への取組が必要となり、担い手への農地集積に向けた農地の大区画化や、水田の畑地化など汎用化のための農地整備のほか、早急な施設の長寿命化対策が必要となる。そのためにも予算の確保や事業提案などを強く要請して、農業農村整備の推進を図っていきたい。」と挨拶され、来賓の広島県農林水産局赤間基盤整備部長からは祝辞をいただき、東広島市土地改良区小池理事長が議長に選任された後、議事に入り、いずれも原案通り可決されました。

- 第1号議案 平成27年度事業報告及び収入支出決算並びに財産目録について
 - 第2号議案 平成29年度事業計画及び収入支出予算について
 - 第3号議案 役員の選任について
- 最後に農業農村整備事業の促進に向けた決議案が可決され、閉会しました。



●第58回全国土地改良功労者等表彰

農業農村整備優良地区コンクール表彰

平成29年3月24日(金)、東京都千代田区のシェーンバッハ・サポーで、第58回全国土地改良功労者等表彰、農業農村整備優良地区コンクール表彰、並びに21世紀土地改良区創造運動表彰が行われました。

広島県からは2団体、3名が受賞され賞状と記念品が贈られました。

○全国土地改良功労者等表彰(全国水土里ネット会長表彰)

団体 銀章 吉田町埃ノ宮土地改良区

個人 前 広島県土地改良事業団体連合会 事務局長
則頭 孝治 様

前 広島県土地改良事業団体連合会北部事業所 所長
大石 忠義 様

前 広島県土地改良事業団体連合会東部事業所 所長
田中 健治 様



吉田町埃ノ宮土地改良区
沖田理事長(銀章)



則頭氏(個人)



左より田中氏、大石氏(個人)

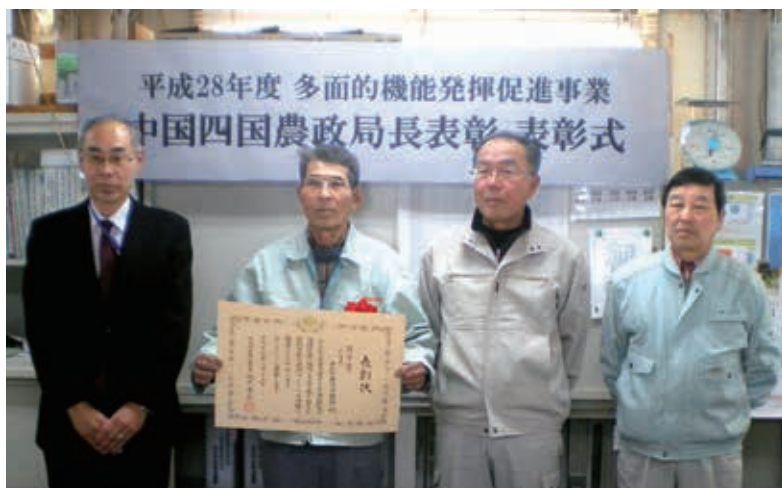
○21世紀土地改良区創造運動表彰

さなえ賞 水土里ネット沼隈(沼隈郡沼隈町土地改良区)

●「あかや共同活動隊」が中国四国農政局長表彰優秀賞を受賞

平成29年2月13日(月)、世羅町の農事組合法人アグリテックあかや事務所内に於いて、平成28年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰優秀賞の授与が行われ、「あかや共同活動隊」が表彰されました。

農道沿いに植栽したあじさいの管理や、ホテルの棲む赤屋川の草刈りや泥上げなどに地域全体で取り組み、また食育教育の一環として地元保育園と連携しジャガイモの植え付けや、大根の播種など農業体験を行っています。また、中山間地域等直接支払集落協定と連携し、鳥獣害防止に向けた対策への取り組みが評価されての受賞となりました。受賞に際して、あかや共同活動隊の方々からは、「地域一丸となって作業できるようになったことが効果的な活動に繋がり、青年会の活動にも波及している。今後も前向きな取り組みを図っていきたい。」と意欲を語られました。



受賞されたあかや共同活動隊の皆さん



表彰を受けるあかや共同活動隊

農地・水・環境 NEWS

広島県農地・水・農村環境保全協議会

●平成28年度多面的機能支払中国四国シンポジウムが開催されました

平成29年1月19日(木)、岡山市北区にある岡山コンベンションセンターにおいて「平成28年度多面的機能支払中国四国シンポジウムin晴れの国おかやま ～未来へ引き継ぐ 地域のたからもの～」が500名以上の参集のもと開催されました。広島県から高屋広域協定運営委員会の会長 畝 啓一郎氏が「共同から無理せず協働へ」と題し広域化への取り組みについて講演され、事務の簡素化は勿論のこと、組織間で活動を補完できる点は、地域の特性に合った取組を積極的に図れるメリットでもあり、全体の将来像が描き易いとの見解を述べられました。また、中国四国農政局長表彰最優秀賞を受賞された「YAWATAシャングリラプラン」(島根県松江市)、「円城広域組織」(岡山県吉備中央町)の活動事例発表が行われ、盛況のうちに幕を閉じました。



開催の様子



合併のメリットについて説明される畝会長

日本型直接支払の広域化について ～多面的機能支払・中山間地域等直接支払～

広域化に関する研修会を開催しました!!

- 平成29年3月1日(水)に、JAビルで日本型直接支払の活動組織を対象に、広域化に関する研修会を開催しました。

まず、事例紹介として、高屋広域協定運営委員会(東広島市)の取組みを、会長である畝啓一郎様より発表頂きました。

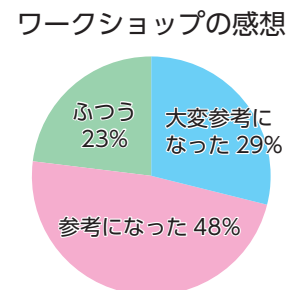
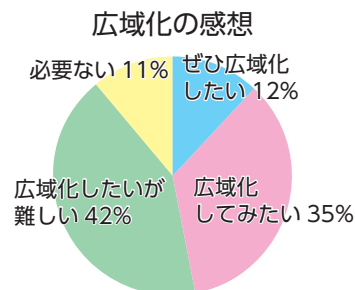
その後、7班に分かれ、広域化に向けた現状や課題および対応策について、日頃から思っていることを、ワークショップ形式で話し合っていました。

今回の研修を通じて、他集落の取組を知り、対応策を話し合うことにより、**参加者の約9割の方に“広域化したい”**と感じて頂くことが出来ました。

- 今後は、研修会を市町単位や各地域で開催しますので、是非、興味がある方は、広島県農地・水・農村環境保全協議会又は、広島県農業基盤課へご相談ください。



研修会の様子



広域化により、体制強化や事務手続きの負担を減らすことができます!!

お問い合わせ先

広島県農地・水・農村環境保全協議会
広島県農林水産局農業基盤課

☎082-502-7476
☎082-513-3649

お詫びと訂正

本誌第248号のP5の記事「多面的機能支払交付金事例研究会」において、高屋広域協定運営委員会の会長名の記載に誤りがありました。正しくは高屋広域協定運営委員会の畝 啓一郎会長です。関係者の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

青年農業家インタビュー Young man farmer Interview No.7

「青年農業家インタビュー」第7回は尾道市瀬戸田町高根で、柑橘類を栽培されている中田次郎さんにお話を伺いました。

青年農業家たちの昨日・今日・明日

中田 次郎さん



レモン畑から見渡す景色



レモンとレモン畑



概要

	中田 次郎
構成員	3名
所在地	尾道市瀬戸田町高根
面積	5 ha (レモン約1 ha、みかん約4 ha)
品種	レモン、せとか、はるか、はるみ、南津海、由良、石地等

——Uターンして果樹農家として働きはじめたきっかけは

京都で映像関係の専門学校を卒業し、就職したものの睡眠時間がないほどハードな日々を過ごすなかで体調を崩し、これから先のことを考え始めたのが最初のきっかけです。とはいえ、映像と全く分野の違う実家の農業を継ぐことは毛頭なく、帰省後もしばらくは、映像関係の仕事に就いていました。両親と生活を共にするうち、仕事としての農業に興味湧き本格的に勉強したいと静岡の果樹農業試験場で2年間勉強し、実家を継いで4年が経ちます。

——全くの畑違いの仕事にはとまどいや苦労はありませんでしたか

生まれた時から果樹農家だったので、環境に馴染んでいたのは大きな収穫でした。いきなり2年間勉強しただけでこの世界に飛び込んでも、今のような基盤はできてなかったです。と自らの環境と土壌を築いてくれた両親への感謝も持ちつつ、自分の色も出していきたくと考えています。1年目はハウスを建てて「せとか」を植えたものの風向きや急傾斜などがハウスの立地条件に合わず、倒壊の危機に直面しました。現在は別の場所に移し、平地に建て替えを行っている最中で、今年の夏には基礎が出来上がりハウスで育つ「せとか」を楽しみにしています。

現役の両親と自分の3人で5 ha (レモン1 ha、みかん4 ha) の収穫をしますが息つく暇がないほど忙しく、特に繁忙期はどこの農家も重なるため、作業を手伝ってくれる人の確保が難しいのが現状です。日々の作業に追われ、試したいことになかなか辿りつけないのが今の中田さんの悩みの種です。



中田 次郎さん

——地域への思いや関わりについてお話しください

地元の若い農家仲間で結成した「果樹研究同志会」では、飲む機会も多く、仕事の相談にも乗ってもらっています。みな個人経営の農家ということもあり、独自の考えでされているのが刺激にもなり頼らせてもらっています。逆に農家で一番若い中田さんは、ハウスのビニールの張り替えなど作業面は頼りにされ、お互い協力し合える部分を積極的に出し、つながりを深めています。3年前に世界遺産を木造船でつなぐ地域活性化にちなんだ権伝馬のイベントに携わったことがあり、その時の高揚感が今でも忘れられず、大好きな地元のために、どのようにしたらもっと魅力的な島になり今住んでいる子どもたちが、また帰りたくなるよう仕向けていけるか、活性化の道を模索しています。



平地に建て直す新しいハウス



「せとか」に堆肥を与えるなど、生育の様子を伺う



レモンの生育の様子を観察

——果樹栽培を通して感じることは

自然が相手なので、自分の思い通りにはなりません。仕事にやり甲斐を感じています。相手は生きている樹。自分で剪定し、その方法によって次の年の様子が変わってきます。例えば今年摘果が遅れたら、次の年には実らなかつたりとやり方次第で樹が変化し、対話している感覚になります。これこそが果樹農家の一番の魅力と目を輝かせます。

——将来的な経営やこれからどのようにしていきたいか思いをお聞かせください

家族経営を続けるには面積が大き過ぎるため、高品質を保つために、少人数で行き届く面積に抑えるほか、急斜面の防除が大変な箇所は減らし、スピードプレイヤーで予防できる場所を基本に4ha程度の面積にする予定です。年内は早獲りのレモンと、みかんについては「ゆら早生」、「いしじ」を重点的に絞り、ハウスで「せとか」を栽培しようとして計画しています。また、レモンは生産量が少ない夏場も安定した出荷が出来るよう、貯蔵用倉庫の改装を検討しています。各農家での販売が可能になり、今後は作業の省力化にも繋がる、貯蔵技術の向上にも力を入れたいと考えています。

——インタビューを終えて

小高い斜面から見下ろす風景が「みかんの花咲く丘」の歌詞そのものだと、歌詞を口にしたなら「初めて聞きました〜。」と穏やかな口調で中田さん。「青年」とのジェネレーションギャップに思わず苦笑。担い手確保の提案に「1日収穫体験」のイベントを開催されてみては？と話を向けると「大歓迎です！初心者でも大丈夫です！」と即答して下さり、柑橘を通じた地元愛のお力添えがいつかできたらいいな、と思いました。ご多忙にも拘わらず、快くご対応いただきありがとうございます。今後のご活躍を期待しています。

こちら 21 創造運動事務局

平成28年度21世紀土地改良区創造運動さなえ賞を水土里ネット沼隈が受賞

平成28年度21世紀土地改良区創造運動さなえ賞を水土里ネット沼隈が受賞しました。県営畑地帯総合整備事業【(担い手育成型)工期：平成元年～平成11年】により整備された42haの樹園地で、保育園や小学校と連携し地域の特産品であるぶどうの栽培から収穫まで1年を通して行っています。地域農業を身近に感じ誇りを持ってもらえるよう、交流の積み重ねを大切にした取組が評価されての受賞となりました。子ども達が次世代を担ってくれることを願いながらの活動に、今後も期待が寄せられています。



説明に耳を傾ける子どもたち



ぶどうの房を薬液に浸す作業中



袋掛け作業の説明

水土里ネット祇園町外二ヶ町からお知らせ

八木用水の定用水碑が、元の場所に戻ってきました。

平成26年8月に発生した広島市土石流災害によって流失した、八木用水の定用水碑と熊野忠左衛門記念碑が細野神社に再設置され、新たな歴史を刻んでいます。流失から約1カ月半後、建設業者の方に見つけていただき、ひび割れ等を修復した後平成29年1月19日に再設置の運びとなりました。ご支援いただいた皆様方には御礼申し上げますとともに、心待ちにしていた地元の方々をはじめ水土里ネット一同、心から感謝しております。八木用水のシンボルともなっている定用水碑ですが、これを機に農業用水の役割と併せ、地域団体・企業と連携を図り防災に向けた取り組みなども発信していきたいと考えています。

(水土里ネット祇園町外二ヶ町 事務局 高橋ふみよ)



再建中の神社と再設置された定用水碑と記念碑



以前の定用水碑と記念碑



再設置された定用水碑

第59回通常総会に於いて、広島県土地改良事業団体連合会役員が選出されましたのでお知らせします。

役職	氏名	他の役職
会長	藏田 義雄	東広島市長
副会長	木山 耕三	庄原市長
副会長	奥田 正和	世羅町長
副会長 常務理事	岩崎 常雄	
理事	眞野 勝弘	廿日市市長
理事	吉田 隆行	坂町長
理事	浜田 一義	安芸高田市長
理事	箕野 博司	北広島町長
理事	増田 和俊	三次市長

役職	氏名	他の役職
理事	枝廣 直幹	福山市長
理事	入江 嘉則	神石高原町長
理事	平谷 祐宏	尾道市長
理事	高田 幸典	大崎上島町長
理事	小村 和年	呉市長
理事	明岳 周作	江田島市長
代表監事	小坂 眞治	安芸太田町長
監事	吉田 基	竹原市長
監事	久川 廣昭	深安郡神辺町土地改良区理事長

(任期：H29.4.1～3力年)

季刊ひろしまの土地改良 第249号

平成29年4月15日

編集：ひろしま農業農村整備広報委員会
発行：広島県土地改良事業団体連合会
印刷：佐々木印刷株式会社

〒730-0017 広島市中区鉄砲町4-1 広島県土地改良会館

◆TEL (082) 502-7470

◆FAX (082) 502-7480

◆http://www.hdn.or.jp